



「生きる」教育
Education for Living

京都大学大学院教育学研究科 教育実践コラボレーション・センターE.FORUM

「『生きる』教育」プロジェクト

単元「みんなむかしは赤ちゃんだった」の概要

教材・教具 準備の手引き

はじめに

単元「みんなむかしは赤ちゃんだった」には、自分たちの成長についての理解や友だちとの話し合いを促進する仕掛けをふんだんに盛り込んでいます。この仕掛けの要になっているのが、視覚的に理解を助ける教材・教具の数々です。ここでは、本単元に使用する教材・教具をどう準備すればよいのかご説明します。

※教材データのダウンロードは、下記 URL・右記 QR コードのサイトをご利用ください。

<https://e-forum.educ.kyoto-u.ac.jp/ikiru/>

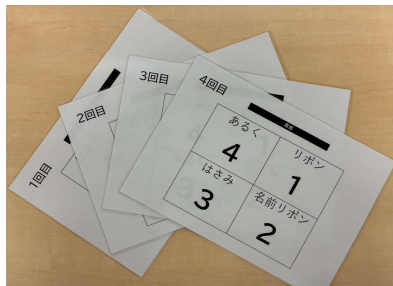


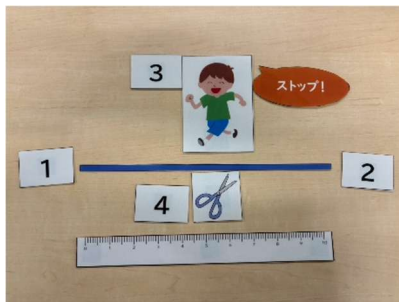
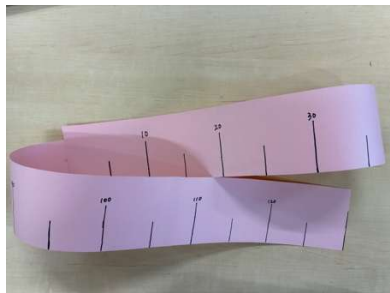
各教材・教具の準備

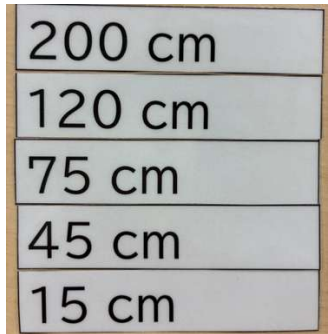
○単元全体で使う教具

ファイル名	準備方法
0-1. 授業用スライド	単元指導案と照らしつつスライドを確認し、授業の準備をしてください。指導案・スライドについては、先生方の目標や子どもたちの実態に合わせて変更していただいても差し支えありません。 【教師用】
0-2. 教具集	本単元で使用する教具をまとめたファイルです。ページ指定で印刷するなどしてご利用ください。必要に応じて、ラミネート加工してください。

○第1時で使用する教具

ファイル名	準備方法
1-1-1. 役割分担カード 	自分にとって「ちょうどよい」距離を知るためのワークの際に、子どもたちに手順を説明するのに使う補助的な教具としてのカードです。4人1グループであると想定して、班メンバーがどのような役割を担うのかを可視化するためのカードを用意しています。 活動例)【1回目】児童①と児童②とでリボンを張り、その間を児童③が児童①に向かって歩いてきます。ちょうどよい距離だと思ったら児童①が「ストップ」と言い、児童④がハサミでリボンを切ります。児童①がそのリボンに名前を書き、自分自身の「距離リボン」とします。 【必要部数】 各班に 1 セット (A4 に印刷)

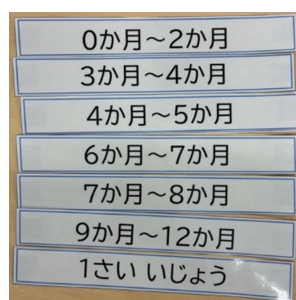
1-1-2. 説明セット 	自分にとって「ちょうどよい」距離を知るためのワークの際に、子どもたちに手順を説明するのに使う補助的な教具です。A3 に印刷し、線に沿って切り分けます。裏面に磁石を貼ります。 ・数字カード ・子どもイラストカード ・ハサミイラストカード ・「ストップ」マーク ・ものさし・テープカード 【必要部数】 黒板掲示用に1セット
1-1-3. 距離測定セット 	自分にとって「ちょうどよい」距離を知るためのワークに使います。 ・リボン(何色でも) 2m×人数分くらいの長さがあると安心です ・ハサミ ・油性ペン(リボンに名前を書くためのもの) 【必要部数】 各班に1セット (A3 に印刷)
1-2. ものさし 	それぞれが自分にとって「ちょうどよい」距離を測り、「距離リボン」を作れたら、それを、黒板に貼り、それぞれの「ちょうどよい」距離の違いを実感できるようにします。その際、子どもたちの「距離リボン」の上に、物差しを置き、「それぞれ快適な距離は異なるけど、クラスみんなが安心できる距離は、だいたい●cmくらい」と指し示すのに使います。 画用紙で 130cm の物差しを作成し、黒板掲示用に裏に磁石を貼ってください。 【必要部数】 黒板掲示用に 1 セット
1-3-1. 相手カード 	相手によって、「ちょうどよい」距離が異なることを知るためのワークに使います。「1-3-1.相手カード」と「1-3-2.パーソナル・スペースリボン」の組み合わせを考えます。それぞれ、枠に沿って切り分けます。黒板掲示用は裏面に磁石を貼ります。 【必要部数】 各班に1セット (A4 に2in1 サイズで印刷) 黒板掲示用に1セット(A3)

1-3-2. 「パーソナル・スペース」 リボン 	色々な人との適切な距離を知るためのワークに使います。リボンを15cm、45cm、75cm、120cm、200cm に切り、黒板掲示用に裏に磁石を貼ります。 【必要部数】 各班に 1 セット 黒板掲示用に1セット
1-3-3. 距離カード 	相手カードとパーソナルスペースリボンの組み合わせを確認する際に、黒板に貼って使います。対応するリボン・相手カードの隣に貼って、距離の目安を示します。(お医者さん=15cm、おうちの人=45cm、仲の良い友達=75cm、近所の人=120cm、知らない大人=200cm)。A4印刷後、枠に沿って切り、裏面に磁石を貼ってください。 【必要部数】 黒板掲示用に 1 セット(A4 に印刷)

○第 2 時で使用する教具

2-1. 針で穴を開けた黒画用紙 	受精卵の大きさを知るためのワークに使います。黒い画用紙の中央に、針で穴を 1 つ開けます。画用紙の大きさは、お好みに合わせて調整してください。 【必要部数】 各班に 1 枚
2-2. ウッドビーズ 	2か月後の胎児の大きさを知るためのワークに使います。直径 1cm のビーズを用意してください。 【必要部数】各班に 1 つ
2-3. 胎児の成長過程 	胎児の成長過程を整理する説明に用います。黒板掲示用に裏面に磁石を貼ってください。 【必要部数】 黒板掲示用に 1 セット (A4 に印刷)

2-4-1. 赤ちゃんの成長過程



赤ちゃんの発達過程を整理する説明に用います。「赤ちゃん発達順序並べ替えワーク」の全体共有の際に活用してください。

黒板掲示用に裏面に磁石を貼ってください。

【必要部数】

黒板掲示用に 1 セット (A4 に印刷)

2-4-2. 赤ちゃん発達カード



赤ちゃんの発達の順序を整理するワークに用います。班活動用は A4 用紙 1 枚にまとめて印刷できるようにしてありますので、印刷してラミネートし、1 枚ずつ切ってください。ケガ防止のために必要に応じて、角丸パンチなどで角を丸くしてください。

黒板掲示用は、A4 用紙 1 枚につき、1 種類のカードとするのが推奨サイズです。裏面に磁石を貼ってください。

【必要部数】 班活動用：各班に 1 セット (A4 に印刷)

黒板掲示用：1 セット (A4 に印刷)

2-4-3. 並べ替えワークシート

0か月～2か月	3か月～4か月	4か月～5か月	6か月～7か月

7か月～8か月	9か月～12か月	1さいいじょう

赤ちゃんの発達過程を整理するワークに用います。班で使いやすいように、A3 サイズで用意します。まず①HP からダウンロードしたファイルを A4 で印刷し、②印刷した 2 枚を貼り合わせてください。片面印刷をしてください。

【必要部数】 各班に 1 セット (A4 に印刷)

※本教材・教具は、別所美佐子先生はじめとする大阪市立生野南小学校（現・田島南小学校）の先生方によって開発された单元「みんなむかしは赤ちゃんだった」の実践を踏まえつつ、普及版として作成いたしました。作成にあたって、様々なご支援をくださった皆様に、感謝申し上げます。

※本教材・教具は、SMBC 京大スタジオにおける共同事業「貧困・格差・虐待の連鎖を乗り越える教育アプローチの研究開発と普及」（通称:「『生きる』教育」プロジェクト）の一環として作成いたしました。作成は、下記の者が担当いたしました。

田野茜、飯塚喜久乃、多田理紗子、田原聡美、奥村旅人、山本尚毅、西岡加名恵

※この教具セットに関するお問い合わせは下記までお願いします。

京都大学大学院教育学研究科 教育実践コラボレーション・センター E.FORUM

「『生きる』教育」プロジェクト事務局

〒606-8501

京都市左京区吉田本町京都大学大学院教育学研究科

E-mail e-forum.ikiru@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp